

■クラブ管理運営部門報告(児玉敏会員)

カウンセラーに前田茂ガバナー、リーダーは柳井西の村岡さん、副リーダーは当クラブの佐藤さん呉の志士田さんで進められました。分科会のテーマとして効果的なクラブ運営のための「CLP」ということでCLPについて協議をしました。

まず最初に、カウンセラーの前田ガバナーより45分間お話しがありました。いろいろCLPについて説明があったのですが、クラブ単位を基本としてクラブ独自のスタイルで地域に根ざした組織づくりにより効果的なクラブをつくっていくことを目的してもらいたいという話がありました。事前にCLPについての7項目のアンケートを取られていてその結果に基づいて村岡リーダーが無作為に指名されて出席者の意見を聞きながらディスカッションを行いました。

最後に前田ガバナーに講評いただき終わりました。意見交換の中で、CLPには馴染めない取り入れていないというクラブが数クラブありました。CLPの最大の目的は、クラブを長期的にいかんかに発展させ活性化を図っていくかということにあることを強く話されていました。

■広報部門(佐々木副リーダー)

広報部門分科会は、岡田 幹矢PGをカウンセラー、廣實厚夫氏(柳井RC)をリーダーに開催されました。初めに岡田カウンセラーから「ロータリーにおける広報の基本的な考え方」と題した講話があり、ロータリーの広報源は一人一人のロータリアンである、真のロータリアンとして地域社会で奉仕することがすなわち「広報」である、ロータリーの会員になったらロータリー内部での研鑽だけでなく、「ロータリーの友」の精読をしなければならない、といった話をされました。

続いて次年度雑誌担当の西海 俊夫氏(柳井西RC)より次年度のガバナー月信についての説明がありました。経費節減などの観点から、次年度はガバナー月信のページ数を8ページ前後に削減し、紙ページに掲載できなかった部分はホームページから閲覧できるようにすることでした。

最後に廣實リーダーから「IT化時代の新たな広報を探る」と題して、最近話題のFacebookなどを用いた広報活動の紹介がありました。当地区でも現在、ホームページの更新を計画しており、そちらの面からも示唆に富む内容でした。

■奉仕プロジェクト部門(明山副リーダー)

地区奉仕プロジェクト委員会は、RI会長の強調事項である「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」を強く認識し、各クラブの職業、社会、新世代、国際奉仕各部会の奉仕プロジェクトが企画、運営、実施されることに対して情報の共有化と連携を図り、サポートしていきます。また、ガバナーの地区運営方針として「社会奉仕を重点として奉仕全般を実施」を掲げられていることについて、我々はより強くCLPを推進して各クラブの潜在能力を引き出していきます。そして人が人に接することで心通わすプログラムへの、確かな手応えを感じられたと考えます。

■ロータリー財団部門(山本会員)

分科会のテーマは、①2013年からの「未来の夢計画」に向けて ②2011-2012、2012-13の対応 ③2013年からのスタートにあたっての3点でした。司会者からRI会長強調事項6点の説明があり、地区の現状報告として人道的-3月、4月の申し込みが26RCで4月23日の選考会により17件認定を行う。

GSE-10月1日～31日(予定)第6220地区(アメリカ)のGSEメンバーを受け入れ予定。

学友会-2名の奨学生を7月から1年間で次年度は1名を決定。

未来の夢計画-2013年7月スタートとなる。現状での2つの問題がある。①地区ニーズが多様化し国際的基準に照らし一律に判断することが困難である。②関係人員が600人以上となり人件費の削減が必要。

未来の夢計画の事業について説明がありました。(ロータリーの友3月号未来の夢クイックガイド)現在100地区がパイロット地区として実施しておりこれらの内容を統括し2013年スタートになります。

2013年からの実施について・・・地区に関しての財団力を高める組織機構の整備充実、人材育成、各クラブの指導支援、各クラブに関して①4月頃認定するに当たり、各クラブは1月～3月事業計画立案が必要になる。次年度委員長、担当者を早く決定する。②担当者の財団のことを深く理解する。③クラブ担当者は地域ニーズを知ること。

2011年度地区R財団目標として、①年次寄付-120ドル/人以上②恒久基金-各RCベネファクター1人以上③使途指定寄付-15ドル/人④Rカードの普及と示されました。三次RCの事業計画としても取り組みます。

■米山記念奨学会部門(藤井会員)

リーダーは岩国西の細田さん、カウンセラー仁田和也パストガバナー。テーマは、「米山奨学会事業を2710地区のローアリアンに理解していただき、財源である寄付率向上をめざします」最初に米山奨学会事業の概要をDVD“心をつないで世界へ”を観ました。それから、奨学生2名の卓話と世話をしているカウンセラーの講話を聞きました。そして米山学友会の報告を地区米山学友会会長の島崎さん(東広島RC)から、説明を米山学友会顧問の庄司さんから伺いました。質疑応答があり、最後に仁田パストガバナーの講評で終わりました。

■会員組織部門(天野会員)

まずアドバイザーの永富パストガバナーの講話がありました。会員増強は、皆さんがほんとにロータリーが好きになり、自分はロータリーが大好きだから入ってくれというくらいでないダメだといわれました。そして40～50代の方が少なくなっているのもそうした方々をターゲットして勧誘していくことが必要だといわれました。続きまして当クラブ平田今年度会員組織委員長から会員増強のの事例発表があり2例紹介されました。そのなかで女性の入会者を増やしていかなければいけないことを強調されていました。最後に永富パストガバナーの講評がありました。

2011年 6月9日(木)

第 43号

本日のプログラム	ゲスト卓話(米国空軍士官学校 外国語学部教授 コミコ・グアハルド 氏)
次回例会	6月16日(木) 12:30～ 三次商工会議所
次回プログラム予告	2010-11年度理事役員 挨拶

例会記録・・・6月9日

- 点 鐘・・・中川筆之 会長
- ソング・・・「君が代」「それでこそロータリー」
- ゲスト・・・ガバナー補佐 村竹昇 様
ガバナー補佐幹事 酒井正治 様
- 四つのテスト・・・丸田洋司会員

会 長 挨 拶 ■中川 筆之 会長



失礼します。三週間のご無沙汰でした。日本との時差15時間のアメリカLOUISIANA州のNEW ORLEANSで開催されましたRIの国際大会に出席してまいりました。大会では日本語の通訳のイヤホン放送がありましたので不自由は感じませんでしたが、一歩外に出ますと英語オンリーですので言葉の通じない不自由さを痛感いたしました。独自のセレモニーとして日本人ロータリアンの朝食会とRI2710地区前田茂ガバナー主催の晩餐会にも参加出席いたしました。特に朝食会ではインドのカルヤン、バネルジー次年度のRI会長エレクトが挨拶をされ東日本大震災に対し哀悼の意を表されましたことが記憶に残っています。行くときの時間はさほど苦痛ではありませんでしたが帰りの時間は大変長く感じました。ニューオリンズのホテルを出発したのが朝の5時で大阪関空に着いたのが24時間後の日本の午後5時でした。さらに三次に着きましたのが4時間後ですから正味28時間かかって帰りました。思えば遠くに行ったものです。本日は以上です。

■村竹ガバナー補佐挨拶

今日は最後のお礼に参りました。あらためて1年間大変ありがとうございました。最初はどうなることかと思いましたが、過ぎてみれば行事に追われあっという間のことで早いものだなと感慨深いものがあります。今年度は特にG12からガバナー輩出したということで、こういう経験をさせてもらったことは私のほうがむしろ今後のロータリー活動をする上でいい勉強になりました。今年度合同増強委員会というものを早くから立ち上げ、その結果を酒井幹事のほうで担当していただきましたが、最後に酒井幹事のほうからその報告をお話し頂き終りにしたいと思います。

■酒井ガバナー補佐幹事

村竹ガバナー補佐のもとで、G12で会員増強委員長の合同会議を持とうじゃないかということで、3、4度開催させていただきました。三次ロータリークラブからは丸田増強委員長に参加していただき情報交換その他会員増強に向けての手法等をさせていただき、目標の10名の増強を果たすことができたのですが、残念ながら4名の退会者がでたということで純増6名となりました。進めさせていただいている中で12グループがおかれている環境や地域性が難しく、これからも引き続き情報交換をしていく必要があるのではないかと思います。どうも1年間ありがとうございました。

S A A 報 告 ■ 属 吉行 SAA

スマイル38,000円

村 竹 昇	一年間お世話になりました。
酒 井 正 治	よろしくお願ひ致します。
菅 原 暢 之	無事ニューオリンズから帰ってまいりました。大変遠い所でした。
荒 瀬 秀 賢	梵英心展無事終了しました。多くの方々に来ていただきありがとうございました。これ以上言うことはありません。話は変わりますが、6月25日卑弥呼蔵でアドベンチャーズのライブを行いますのでどうぞお越しください。
石 田 光 司 郎	甥が5月18日楽天戦で初安打。初打点逆転で勝ちました。相手がカープでなくホトしております。
佐 々 木 智	皆出席ありがとうございました。
本 人 誕 生 月	佐藤匡司・山下俊明
婦 人 誕 生 月	藤後敏彦
結 婚 記 念 月	山下俊明・古永雅則
入 会 月	藤後敏彦・古永雅則・丸田洋司・新家良和・松本義暁・増田茂典・佐々木智
創 業 月	佐藤匡司・小田大治・天野芳明
1年間お世話になりました	中川筆之・小田大治・菅原暢之・石田光司郎・新家良和・増田茂典・佐々木智・丸田洋司・藤井憲昭・藤後敏彦・為石肇・属吉行

プ ロ グ ラ ム

地区協議会報告

■会長・幹事部門(藤後次年度会長)
 ロータリー活動における国際奉仕について
 国際奉仕はロータリー活動の中で最も取りつきにくいように感じます。一方、大きなエネルギーを使って国際奉仕を経験されたクラブは、苦労を超えて感動を得られ、これこそロータリー活動の真髄であると話される例もあります。
 2013-2014年度からロータリー財団が今までより使いやすい制度に変わります。これに対しても国際奉仕がその対象になることが多いと思われれます。
 この度の東日本の災害に対しても、海外から多くの支援が寄せられています。私たちは、今まで以上に国際奉仕に関心を寄せることが必要であると思います。
 まず最初に天野肇バスターガバナーからテーマ『ロータリー活動における国際奉仕について』講演を賜りました。
 天野バスターガバナーの講話は、ロータリーの歴史について、ふりかえりインターナショナルからグローバルへさらにはグローバルに考えていかなければならないとされています。つまり、地球のなかの一地域であると認識すべきといわれています。

次に国際奉仕に関する事例発表がありました。
 福山東RCの宇江さんと岩国西RCの鎌田さんからありました。国際奉仕というのは、地方においては遠い存在のようにも思えますが、そんな深く考えなくてもいいというようなことを非常に和やかな雰囲気の中で発表されたのが印象に残っています。
 特に、アフリカのあるクラブでマッチンググラントをするため寄付をもらうためにクラブを作って寄付をもらうとクラブがなくなるということがあったそうです。国際奉仕での心得として次の5つのポイントをお伝えして紹介させていただきます。
 1子供たちの純真な笑顔がたまらない。またいきたくなる
 2見返りを、求めてはいけません。
 3究極の道楽であると考えよう。
 4夫婦でやると嵌る。
 5クラブのメンバーに理解してもらおうのは、じっくり時間をかけてやるべきである。
 最後に宇部東ロータリーの次年度会長の紹介がありました。スイス人の会長さんで、日本語も上手で大変魅力的な方でした。

幹 事 報 告 ■菅原 暢之 幹事

■6月9日(木) 18:30より、ふくべで新旧理事役員会を開催します。
 ■内藤会員6月末をもって退会。
 ■R I ニューオリンズ国際大会の参加者よりネクタイとピーバッチあります。

出 席 報 告 ■明山 晃映 委員長

5月12日の出席報告					本日(5月26日)の出席状況			
会員数	出席者	Make-up	出席免除者	出席率	会員数	出席者	出席免除者	欠席
44	30	4	5	86.67	休会			

Make-up 伊藤会員(岡山ローターアクト年次大会)・石田・藤井・児玉(敏)会員(地区協議会)

5月19日の出席報告					本日(6月2日)の出席状況			
会員数	出席者	Make-up	出席免除者	出席率	会員数	出席者	出席免除者	欠席
44	24	9	5	86.36	44	31	5	8

Make-up 菅原・小田(大)・小田(聡)・丸田会員(国際R世界大会)・中川・藤谷・古永・伊藤・児玉(常)会員(地区協議会)

■増田会員 連続出席11年
 ■佐々木会員 連続出席8年



委 員 会 報 告

■野球同好会 児玉敏会員
 5/28ガバナー杯2回戦が防府RCと呉二河球場で対戦し2-6で敗れました。非常に良い試合で、これに勝つとマツダスタジアムでの試合だったんですが、ベスト4の足元が見えたと思います。来年こそは頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひします。